

Prime Photonics社は、翼端すき間 (BTC) 計測用に多数のオプティカルプローブを製造しています。これらのプローブは翼端すき間(BTC)と翼端タイミング (BTT) の両方を1つのプローブで計測します。

## 計測範囲

翼端すき間計測用プローブの標準品は下記のごとくです。

短距離用: 0.5mm~6.3mm

長距離用: 27.9mm~45.7mm

短距離プローブはクリアランスの小さな変化を検出することができ、長距離プローブはより広い計測範囲を持っています。標準品以外は計測範囲に合わせて設計、製造致します。

## 使用環境

翼端すき間用プローブは、冷却なしで590°Cまでのアプリケーションに使用できます。プローブにガス冷却ラインを取り付けることにより、冷却機能を持たせるばかりでなくクリーニング機能も持たせることができます。

翼端すき間計測用プローブは、汚れに強く、クリーニングが容易なフロントウィンドウを特徴としているため、タービンステージなどの汚染物質が存在する環境での使用に適しています。

## プローブの形状

プローブの最も一般的な形状は、ブレード先端を計測するための軸状プローブです。

90度角プローブは、プローブヘッドの背面のハードケーブルを直角に引き出すことにより高さを低くすることができ、設置及び取り外しの際、高さが制限されている狭いスペースで使用されます。

レンズ付きプローブは、プローブ軸に対して0~90°の見下ろし角度で設計することもできます。これは、レーザーがプローブの軸から一定の角度でプローブヘッドを出ることを意味します。

Prime Photonics社は、90°屈折角を採用した潜望鏡型プローブも開発しており、ブレードの側面からの距離測定が可能になります。潜望鏡型プローブは軸方向の変位を計測するのに適しています。



(左上) 90度角プローブ  
(右上) プローブのフロントウィンドウ  
(左下) ガス冷却付きプローブ  
(右下) 標準レンズ付きプローブ

ご要望プローブについて 下記仕様をご連絡  
願います。

プローブ先端の寸法、特に直径と長さ  
プローブ先端 及び ケーブルの使用環境 (特  
に最高温度)

プローブ取り付け方法 (フランジ 又は 他の  
インターフェース)

ケーブルの長さの種類(リジッド、フレキシ  
ブルなど)

ケーブル引き回しルートの詳細

コネクタタイプ (FC、ST、SMAなど)

PRIME PHOTONICS

URL: [www.primephotronics.com](http://www.primephotronics.com)

1116 South Main Street Blacksburg, VA, 24060, USA

E-mail: [info@primephotronics.com](mailto:info@primephotronics.com)

Tel: +1 540 961 2200



株式会社 インターナショナル・サーボ・データ

e-mail: [araiyuki@isdsystems.co.jp](mailto:araiyuki@isdsystems.co.jp)

〒164-0012

東京都中野区本町4-46-9 オーチュール第6ビル 4階

Tel: 03-6382-4350 Fax: 03-6382-4351

URL: <https://isdsystems.jp>